2層 協議体（各郷づくりエリア）

ふくつのふくし

第２５号

令和６年１２月

～人が大切にされ、みなが共に住むまち、ふくつ～

福間南　吉村SC

福間南地域郷づくり健康・福祉部会　月例会の取り組み

「高齢になっても、障がいを持っても、認知症になっても、安心して暮らせる温もりのある地域にしていこう」を目標に活動している健康・福祉部会。月例会議を、参加して元気になれる場にしたいと検討を重ね、全員が意見を出し合えるグループ討議形式を導入しました。

グループ討議の内容は、研修や講座の感想や地域の活動報告、今後どんなことに取り組みたいかなど毎回様々で、部会役員で協議しながらテーマを決定しています。

また、グループワークで出された意見は集約して、今後の活動の参考になるように部会員へ配布しています。

いろいろな情報を共有し、意見を交換し合う中で顔見知りも増え、部会員からも好評を得ています。月例会の形を見直したことで、本来なら任期は１年ですが、一部の部会員が活動を継続してくれるようになりました。

会議の様子

１９時から開催の月例会では、静かな音楽も流れ、お茶やお菓子も配られます。ほっとできる空間づくりを目指しています。

宮司　則武SC

新築された宮司自治公民館を紹介します！

宮司二区自治会の新たな公民館が、令和６年４月に開館しました。１１月２３日（土）には、宮司二区福祉会のサロンが開催され、多くの地域住民の参加を得て、タピオカストロー笛による演奏と気功の講座が行われました。

宮司二区自治会と福祉会の会長を兼任されている中野さんは「開館時から宮司二区に限らず、宮司地区から多くの利用があり、各団体の行事等により自治活動が行われています」と話されていました。

宮司二区福祉会のサロン（気功の講座）の様子

１階にはカラオケが設置された防音仕様の音楽室があり、２階への階段昇降機も設置されていて、館内は飲食も可能となっています。また、閉館した宮司公民館で活動していたサークルも利用されています。

宮司二区の方はもちろん、多くの市民に活用され、ますます活気があふれる公民館になることを期待しています。

音楽室

階段昇降機

生活支援コーディネーター（SC）は、地域の「**あること（社会資源）**」と「**あったらいいな（地域ニーズ）**」を見つけ、つなぎ合わせたり足りないものを新たに創るための支援を行い、地域における支え合いの体制づくりを進めていく役割を担っています。

発行元　福津市社会福祉協議会（ふくとぴあ2階）TEL 0940-34-3341

※本会は、福津市から各郷づくりエリアの第2層生活支援コーディネーター（SC）支援業務を受託しています